

60年の間に、素敵な出来事がたくさんありました。

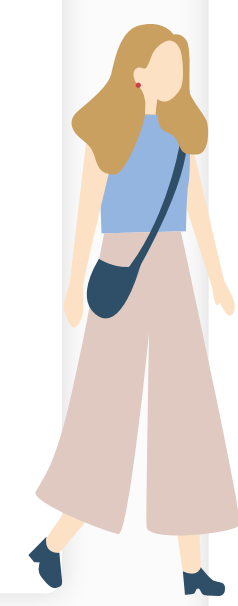
京都生協60周年特別企画

わたし×京都生協

お店・商品編

息子の生後100日のお祝い・お食い初めの鯛を、生協で準備していただきました。取り分けやすいように、焼きではなく鯛の刺身の舟盛りにしてもらいました。当日取りに行くと、受け取った舟盛りのなんと立派なこと！いろいろなお魚、珍しいものも入れてくださり、「おいしい、おいしいね」と両家自然と会話も弾みました。後日、あまりに立派な舟盛りだったことを鮮魚担当の方にお礼に行くと「喜んでもらえたら、私たちはそれで」と満面の笑みではにかんでおられた姿にさらに感動。ハレの日も普通の日も、「中の人たち」がいつも私たちの暮らしに寄り添い支えてくれる、私の大切なコープです。

#わたし×お店



離れて1人暮らしをする祖母（97歳）は、生協の宅配を利用しています。私が生協を初めて利用しようと思ったとき、祖母に、おすすめの商品を聞きに行ったことがありました。祖母は、今までに頼んだことのある生協商品をすべてリストアップしており、そこに、味の感想や、リピート回数などを丁寧に書き込んでいました。祖母の一番のおすすめが、このオムライスでした。「冷凍庫に必ず2つは入れておくの。1つ食べても『まだある、なくならないわ、大丈夫。また、来週頼みましょう』って思えるの。在庫が0になっちゃうと悲しくなるのよ」と言っていました。このオムライスは、今や私のおすすめ商品ともなり、冷凍庫を開けるたびに、なかなか会えない祖母を思い出し、ほっこりしています。

#わたし×コープ商品



CO-OP コープきんき
共同開発
ふんわり包んだ
オムライス
200g×2



生協に入ったころ（48年前）、いっぱい添加物の学習をしました。当時小学1年生の長男が、それを耳にしていたのでしょうか。ある日、お菓子を買に行くと言うので100円を渡し、「これでお姉ちゃんの分も買ってきて」と言いましたら、「これだけでは、合成保存料・合成着色料がいっぱい入ったのしか買われへん」と言って、もう100円ということになりました。

#わたし×商品

今年70歳、古希を迎えます。私と生協さんとの出会いは60数年前、夏休み中に芦屋の親戚の家へ遊びに行き、灘神戸生協のお店を訪れたときでした。商品棚からあふれ、転がり落ちそうに積み上げられた野菜の数々、豊富な品物、清潔な肉・魚介類。そのどれもがとても新鮮そうに見え、衝撃的な光景でした。当時の京都にはスーパーマーケットがほとんどなく、私は「こういうお店が京都にもほしい、もしあれば京都の人はどれほど喜ぶだろう」と、出店を祈り、願ったものでした。あれから60数年がたつのですね。

数十年が経ち、初めて京都生協のお店を訪れたとき、目の前には幼いころに見た灘神戸生協さんと同じ光景が広がっていました。涙がこみ上げそうになったことを、今でも覚えています。それから京都生協さんとの付き合いが始まり、今では個人宅配を基盤に、自分の目で見て買いたいときは店舗を訪れ、京都生協さんの姿を見続けています。店舗からの案内メールには、日々進歩、成長され続けている様子が見受けられ、宅配カタログにも力を尽くされている様子を推察することができます。今年が60周年とは思ってもみませんでしたが、ますますのご発展を心から願っております。

どなたかに伝えたかった想い、思い出です。60周年の企画に投稿でき、うれしく思います。どうぞ、今後も組合員に喜んでもらえる生協さんであり続けてください。

#わたし×お店



子どもが学生のころ、私は京都生協に入っており、とてもお世話になりました。子どもが大きくなり家を離れるといったん生協はやめました。が、数年前からまた再開しました。孫が近くに住んでおり、ごはんをつくったりするためです。自分が働きながらも、簡単にできる商品がたくさんあるため、重宝しています。これからもしばらくお世話になりそうです。よろしくお願いします。

#わたし×コープ商品

